

## 第1回人間文化研究機構 DH 研究会

## DH プラットフォーム nihuBridge の研究活用の可能性

～API 機能を一例として

 12/9  
金

人間文化研究機構(以下、機構)は 2022 年 6 月に nihuBridge <https://bridge.nihu.jp/> を公開しました。nihuBridge は、機構が 2008 年以降公開・開発してきた研究資源共有化システム (nihuINT) による統合検索機能を引き継ぎながら、研究成果データの蓄積機能や DH (Digital Humanities) 関係リンク情報集約機能、研究者情報の集約・公開機能等を新たに備えました。これにより、機構および連携諸機関が発信する、多様な研究資源情報を共有・活用するためのポータルサイトになりました。今後、さらに DH のプラットフォームとして成長させるべく開発を続けていきます。

nihuBridge に新たに備えられた機能のひとつとして、API があります。今回の研究会ではこの API の nihuBridge における位置付けや具体的な設計、想定される利用例などをお示しします。その上で、nihuBridge のプラットフォームとしての今後のあり方や DH への貢献について議論します。

nihuBridge の API は、機構から発信する様々なデータの取得を容易にします。このような機械的情報取得手法の共有によって、これまでに公開されてきた多くの研究データから新たな研究や分析を行うことを可能にします。大学院生や新たに DH の研究に取り組もうとする研究者をはじめ、人文学、情報学等の様々な研究分野の皆様に nihuBridge が活用されることを期待し、本研究会を開催します。

## ／プログラム／

- 14:00-14:05 趣旨説明 (0:05) 北岡タマ子 (機構 DH 部会／人間文化研究機構本部)
- 14:05-14:25 nihuBridge のコンセプト  
後藤真 (機構 DH 部会／国立歴史民俗博物館)
- 14:25-14:45 nihuBridge のシステム  
関野樹 (機構 DH 部会／国際日本文化研究センター)
- 14:45-15:25 nihuBridge API の利用事例  
鈴木卓治 (機構 DH 部会／国立歴史民俗博物館)
- 15:30-16:30 ディスカッション <司会>北岡  
宮川創 (機構 DH 部会／国立国語研究所)、菊池信彦 (機構 DH 部会／国文学研究資料館)、  
後藤、関野、鈴木

／日時／ 令和 4 年 12 月 9 日 (金) 14:00～16:30 &lt;じんもんこん 2022 第 1 日目 無料公開セッション&gt;

／実施形態／ オンライン (申込者に URL をお知らせします)

／参加費／ 無料 (じんもんこんの一般セッションに参加する場合には、種別に応じて参加費が必要です。じんもんこんのサイトから別途参加申し込みをお願いします。)

 ／参加受付／ 11 月 21 日 (月) からじんもんこんウェブサイト <http://jinmoncom.jp/sympo2022/> で申し込みが可能になります。公開セッションの申し込みページからお申し込みください。

主催／	大学共同利用機関法人人間文化研究機構 人間文化研究創発センターDH 部会 じんもんこん 2022 実行委員会
連絡先／参加申込みに関して／ ／企画に関して／	じんもんこん 2022 実行委員会 (Mail) <a href="mailto:sympo2022contact@jinmoncom.jp">sympo2022contact@jinmoncom.jp</a> 人間文化研究機構本部 研究企画課広報・社会連携係 (Mail) <a href="mailto:koho@nihu.jp">koho@nihu.jp</a>

